

あとがき

今年度は、多くの方々の寄稿を得て、かなり充実した「聖泉論叢」第13号を作成することが出来ましたこと、編集委員一同感謝しております。

当初はもっと多くの方々から寄稿申込がありましたが、締切が近づくにつれて、今年度は残念ながら見送らざるを得ないとお断りを数名の方々からいただきました。たしかに我々大学教員は、日頃から研究と教育に従事すべきものとされており、その意識の下に日々の歩みを進めているわけですが、研究と教育の他に、余りにも多くの学務があることも事実です。日々の講義とその準備等に追われる中で、多くの方々が寄稿して下さいたことを喜んでおります。

「大学では、教員は社会に役立つ研究を推進し、大学はその成果の発表を積極的に促進しなければならない」と、前委員長が前号のあとがきで記している如く、ここに掲載された諸論文が「社会に役立つ」ものであることを期待します。

編集委員

赤井 伸之	國弘 正義
李 艶	李 相済
山内高太郎	吉川 栄子